

第4回 町田市下水道事業審議会 議事録

日 時：2020年12月18日（金）10：00～11：33

場 所：成瀬クリーンセンター 3階 大会議室

出席者：委 員 長岡 委員（会長）、市古 委員（副会長）、鶴川 委員、大久保 委員、
石原 委員、大内 委員、内藤 委員、細野 委員、小菅 委員、
神保 委員

事務局 野田 （下水道部長）、今國 （下水道部次長）、
北川 （下水道整備課長）、杉山 （下水道管理課長）、
西澤 （下水道管理課担当課長）、西川 （水再生センター所長）、
布施 （水再生センター担当課長）、
鎌野 （下水道経営総務課担当課長）、
下水道経営総務課 中山、北原、神藏、結城、鈴木、古賀、
下水道整備課 北原、福田、安藤、石渡、
下水道管理課 砂坂、比留間、
水再生センター 宮川、井上、村野、坂本

傍聴者： 0名

- 次 第：(1) 第4回下水道事業審議会の開催要件等について
(2) 第3回下水道事業審議会 確認事項について
(3) 【議案審議】①議案第1号『町田市下水道事業経営戦略』の策定について
(第1章～第9章) 全体を通して
②議案第2号『町田市下水道事業経営戦略』の策定について
(答申) について
(4) その他

資 料：事前配布 『(仮称) 町田市下水道事業経営戦略』(資料1)、
当日配布 『第4回 町田市下水道事業審議会 次第』、
『第4回町田市下水道事業審議会 席次』(資料2)、
『修正箇所一覧』(資料3)、
『答申鑑案 「町田市下水道事業経営戦略」の策定について (答申)』
(資料4)、
『町田市下水道ビジョン』、
『町田市下水道アクションプラン』

(1) 第4回下水道事業審議会の開催要件等について

事務局から、本審議会の進め方について説明を行った。

説明内容：定足数の報告、審議会の進め方、会議中の注意点、配布資料の確認

(2) 第3回下水道事業審議会 確認事項について

資料3を元に、前回審議会での修正箇所（6つの項目）及びそれ以前に指摘を受けた事項について確認を行った。また、それ以外に、文言の追加・修正、用語集の追加、構成変更（平準化債適用後グラフを巻末へ移動）を行ったことを説明した。

<質疑/応答/意見>

- ・特になし。

(3) 【議案審議】議案第1号「町田市下水道事業経営戦略」の策定について（第1章～第9章）全体を通して

■第1章～第9章の全体及び資料3について意見を求めた。

<質疑/応答/意見>

- ・ P58 SDGsのアイコンが分かりにくい。下余白に各項目の内容を示した凡例を載せてはどうか。
→分かりやすくなるよう工夫する。【修正①】
- ・ P103・108 長期的な財政検証について、定期的に見直していく旨の記載が必要ではないか。
→第9章（P107）にモニタリング及びローリング（3～5年）について記載済みである。
長期の試算についても、定期的に見直す旨を追記する。【修正②】
- ・ P35 下水道使用料の未収金はどの程度あるのか。また、経営への影響はあるのか。
→現状、未収金は全体の5%程度であり、経営への影響はないといえる。ただし、放置はできないことから、使用料の徴収事務を委託している東京都と協力して改善に努めていく。
- ・ P41 共同化の検討について、町田市は鶴見川等の流域と思われるが、県をまたいで協議を行ったけいかはあるのか。
→今のところ協議はしていない。町田市は、地形条件等から単独下水道として自立した体制の確立を目指すべきと考えている。
- ・ P46 雨天時浸入水対策について、明確に位置付けて取り組むべきではないか。
→具体的な記載を検討する。【修正③】

- ・ P49 民間委託について、「導入効果を研究」と表現されているが、実際に進めていくという記載をすべきではないか。

→委託すべき範囲や民間委託をすることによる課題の検証がまだできていないため、「検討」という表現にとどめたい。【修正④】
- ・ これまでに、雨天時浸入水の実被害はあるのか。

→近年、実被害はない。今後も手を緩めることなく地道に対策を推進していく。
- ・ P31 下水道使用料収入の検証について、今後の維持管理見通しを踏まえて適正な水準にあるか検証することを明記してはどうか。

→加筆修正する。【修正⑤】
- ・ P70 図6-12について、右下の黒い点線や「防災拠点」とは何を指しているのか。また、マンホールトイレから雨水管渠へ放流しているように見えるため、表現を工夫してはどうか。

→文言やイラストについて精査する。【修正⑥】
- ・ P67 浸水対策について、浸水が発生した後に下水道機能を速やかに復旧させる対策を盛り込む検討をしてはどうか。また、最近国が提唱している「流域治水」という表現を用いてはどうか。

→記載内容を検討する。【修正⑦】
- ・ P48 管路ストックマネジメント計画の進捗状況を教えていただきたい。

→簡易調査、評価・分析が完了し、詳細調査に着手している。
- ・ P86 管路施設の改築更新にかかる事業量・事業費について、2028・2029年度でかなりの事業費となっているが、各年で平準化を図ってはどうか。

→2027年度までは詳細調査を行い、2028年度から工事を始めることを想定している。

2028年度以降については、污水管（表6-14）と雨水管（表6-15）を合わせると平準化が図られている。事業量・事業費の設定根拠について、補足説明を記載する。

【修正⑧】
- ・ P106 2021年度以降の値（計画）が記載されているが、基となる2020年度の値についても記載すべきではないか。

→2020年度の値は見込み値であるため記載は見送りたい。注釈として、見込み値を基にしていることを追記する。【修正⑨】
- ・ P52 図5-12 マンホールトイレ整備箇所一覧について、図・文字を鮮明にしてほしい。

→鮮明な図に差し替える。

■事務局から、本審議会における修正箇所等の確認を行った。なお、修正内容の確認については長岡会長へ一任することとなった。

- ① P58にSDGsの凡例を余白に列挙すること。
- ② P103又はP108に、長期的な財政検証について定期的に見直していく旨を記載すること。
- ③ 雨天時浸入水対策について具体的に記載すること。
- ④ 民間委託について、P49の「導入効果を研究」という表現を「導入効果を検討」に修正すること。
- ⑤ P31の下水道使用料収入の検証について、「今後の維持管理見通しを踏まえて適正な水準にあるか検証する」旨を明記すること。
- ⑥ 図6-12の文言やイラストを精査すること。
- ⑦ 浸水対策について、浸水後に下水道機能を復旧させる対策や「流域治水」の内容を盛り込む検討をすること。
- ⑧ P86に管路施設の改築更新にかかる事業量・事業費の設定根拠を記載すること。
- ⑨ P106の2021年度以降の値について、2020年度の見込み値を基にしていることを注記にて追記すること。

(3) 【議案審議】 議案第2号「町田市下水道事業経営戦略」の策定について（答申）

■答申文（資料4「町田市下水道事業経営戦略」の策定について（答申））の内容を、審議会委員により決定した。

<質疑/応答/意見>

- ・経営戦略の内容を市民に対してエッセンスのみを広報する予定はあるか。
→概要版を作成し、広報する予定である。

(4) その他

事務局から、市長への答申予定日が2月2日（火）であることを説明した。